



59歳以下のコロナワクチンや副市長の再任を議決 2022～23年の根室市議会 開会議会

共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第2036号 2022年10月16日
日本共産党 根室市議団
根室市宝林町4-203 Tel.0153-23-6023

10月6日、根室市は開会議会を開催しました。会期は来年8月末まで。当日は今日12日で任期満了となる竹本勝哉副市長が再任されたほか、59歳以下等の新型コロナワクチン接種に係る補正予算を議決しました。この後、10月定例会議は13日(木)に開会する予定になっています。

開会議会は例年9月に開催していましたが、今年は市長選挙が行われたため1か月ほど遅れての開会となりました。

根室市議会は定例会が年一回。いわゆる通年議会のような形態であり、会期は来年8月31日までの330日間となります。

副市長再任の議決をしたほか、新型コロナワクチン接種に関して、オミクロン株対応2価ワクチンを接種するための補正予算が可決されました。このオミクロン株対応のワクチンは、根室市内では既に9月下旬頃から60歳以上で接種がはじまっています。

今後は12歳以上59歳以下への接種と60歳以上の5回目の接種が追加されました。市によると59歳以下の接種は11月中旬ごろ開始を想定しているそうです。

なお先般、生後6か月～4歳未満の子どもへの接種を新たに国は承認しました。根室市では具体的にどのような対応になるか現時点で公表されていませんが、これらの時期は特にインフルエンザワクチンや様々なワクチン接種等への対応も求められており、実際の業務にあたる病院職員や行政など関係者の方々は大変にご苦労されているものと思います。

10月定例会議は13日、2期目の再選を果たした石垣雅敏市長の所信表明演説が行われます。

その後11月初旬までの日程で代表質問と一般質問、各常任委員会、令和3年度決算審査特別委員会などが行われます。



10月定例会議の日程

- 10月13日(木) 10時～ 本会議
所信表明の演説など
 - 10月25日(火) 10時～本会議
代表質問など
 - 10月26日(水) 10時～本会議
一般質問など
 - 10月27日(木)
10時～総務経済常任委員会
14時～文教厚生常任委員会
 - 10月28日(金)
10時～補正予算審査特別委員会
17時～本会議
 - 10月31日(月) 10時～決算審査特別委員会
 - 11月01日(火) 10時～決算審査特別委員会
 - 11月02日(水) 10時～決算審査特別委員会
 - 11月04日(金) 10時～決算審査特別委員会
 - 11月08日(火) 10時～本会議
- 各議案などの採決
意見書案の採決



市内の小中併置校 来年度から順次 「義務教育学校」へ転換する方針

先日、市議会文教厚生常任委員会は委員会協議会を開催。市教育委員会から市内の小中併置校について、来年度から順次「義務教育学校」として開設していく方針についての説明を受けました。

市内では2020年度に義務教育学校「歯舞学園」が開設。その後の実績等から郊外の小中併置校中でも施設の改修等が比較的小規模な「海星小中学校」を来年度から義務教育学校にする方針が示されました。さらに翌2024年度からは厚床小学校と中学校、落石中学校と落石小学校についても、それぞれ義務教育学校としていきたい考えを説明していました。

説明を受けた各議員からは義務教育学校が良い制度なら市街地域も含め市全体で計画を持ち、小中一貫教育や義務教育学校化を早急に進めるべきといった趣旨の意見が挙げられていました。

しかし義務教育学校は約10年ほど前に制度として出来たばかりの学校種であり、その教育効果や子ども達の成長・発達にどのような影響がみられるのかについて、今後も十分な検証が必要だと思います。

また残念ながら埼玉や東京などでは、学校統廃合を急速に進める手段として義務教育学校化を進める地域もあります。そのような目的のために利用することがあつてはなりません。もともと波岸教育長は「地域の特性を活かした教育を進め、それぞれの地域の核となる学校を限りなく残していきたい」と等と説明していました。北海道では近年、義務教育学校の開設が増えています。ある研究者は児童生徒数が減少する中であつて、地域の学校を存続させるためと指摘します。どこも過疎地域では切実な状況が続いていることは確かです。

いずれにしても先生方をはじめ学校の職員、保護者や地域の方々への情報提供や話し合いのもと、また当事者である児童・生徒の考えもしっかりと聞いた中で、多角的に検討していくことが大切だと思います。

今年のインフルエンザ予防接種 どうなの？、少し心配です...

新型コロナの影響かどうか分りませんが、この2年間はインフルエンザの流行がみられません。しかし今年にはインフルエンザが早期に、または新型コロナと同時に流行するのでは？と報道で言われています。

聞くところによると市立根室病院では内科・小児科ともに1日でインフルエンザワクチン接種の予約枠が定員一杯に。追加発注しているワクチンが納入されれば予約を再開出来るとのことでしたが、入荷される時期については、まだ不明であると病院側は言います。

深刻なワクチン不足に陥った昨年や一昨年と異なり、厚労省によると過去5年間で最大量(約6300万人分)のワクチンを供給予定とされていますが、流行する恐れから需要もかなり伸びるのではないかと考えられています。

また市内唯一の小児科診療所が今年閉院したため、小児の予防接種が市立根室病院に集中する形になりました。このため市内の各医療機関では小児のインフルエンザ予防接種を始めたところもあるそうです。

それでも十分な対応となるかどうか現時点では、なおも不透明な状況にあると言えます。

